



毎月2回10日・25日発行
発行所 秋田県北秋田郡
合川町役場
編集人 合川町役場総務課広報係
(発行部数 2,350)

南、西両地区議員は退場

重要案件半数で可決

町会

町議会臨時会は去る十六、十七の両日西小学校で開かれたが、財政再建計画、役場庁舎新築、北中学校屋体建築、追加更正予算等の重要案件を議員半数の十三名が退場したまま残り十三議員が可決し、各方面から注目されている。

第一日の十六日は二十五議員が出席、最重要案件と目される「財政再建計画の承認を求める件」を上程し、昌山町長から

「町財政再建の基本的な方針としては、財政を経常な線にもつてゆくとともに新町建設の計画を進めてゆかねばならぬので自治庁をはじめ国県の各機関とも再三にわたり協議の結果、一応の成案を得たので再建計画を提案した。」

計画の根本として、行政機構の確立をはかり、消費的経費を削減し、これを投資的事業にもつてゆきたい。諸事業については財源とにらみ合せて計画したが、時日の関係から議案と充

財政再建計画に伴う町の組替予算

(単位円)
(一般会計)
(歳入の部)
(カッコ内は増減を示す)

①町税	21,884,000	(1,318,600)
【主たる税】		
◎県町民税	4,802,000	(34,000)
◎固定資産税	8,713,000	(364,000)
◎自転車荷車税	571,000	(△60,000)
◎電気ガス税	1,156,000	(264,000)
◎木材引取税	5,098,000	(582,600)
◎たばこ消費税	1,544,000	(134,000)
②地方交付税	16,775,000	(△525,000)
③公営企業及び財産収入	1,800,000	(△211,000)
④分損金及び負担金	0	(△1,000)
⑤使用料及び手数料	257,000	(62,600)
⑥国庫支出金	3,981,000	(△28,000)
⑦県支出金	1,634,000	(△35,100)
⑧寄附金	2,370,001	(2,369,001)
⑨繰入金	0	(△6,904,410)
⑩繰越金	0	(△1,000)
⑪雑収入	276,001	(△88,999)
⑫町債	17,000,000	(17,000,000)
◎計	65,977,004	(12,955,694)

(歳出の部)

①議会費	1,074,500	(△11,000)
②役場費	15,827,200	(6,118,820)
③消防費	1,990,300	(250,000)
④土木費	3,770,500	(3,014,000)
⑤教育費	12,070,000	(4,357,800)
⑥社会及び労働施設費	3,675,700	(△194,220)
⑦保健衛生費	927,180	(△10,000)
⑧産業経済費	4,029,100	(396,800)
⑨財産費	587,000	(△8,000)
⑩統計調査費	75,500	(△4,500)
⑪選挙費	180,290	(20,720)
⑫公債費	3,368,000	(514,000)
⑬諸支出金	18,099,800	(1,240,900)
⑭予備費	301,934	(1,934)
◎計	65,977,004	(12,955,694)

(次号は国保特別会計)

合併時に於ける新町建設計画は旧村の総意により、四カ村同時決議による合併の基本事項にして、之を濫りに変更するは住民に対する公約を破る結果となり、又議会の権威を失墜して住民感情を悪化し、対立的状態を招来し、以て新町の平和的建設を阻害し民生を不安に陥し入れるものにつき、之を取消し、従前の通りにせんとするものなり。

依然強い旧村意識

議員半数退場の裏...

別掲のとおり八月の臨時町議会は七つの重要案件を半数の十三議員が退場のまま、残り十三議員が満場一致で可決して二日間わたる議会の幕を閉じた。

この様な事態に立至った原因にはいろいろな見方があろうと思われるが、合併の三原則といわれている「役場庁舎建築」「直線道路」「中学校一校統合」の三つの問題が決定したように見えて実は決まらずに、いまだに決まらなかつたこと、これに地財法の適用にともない三十一年度中に役場庁舎と北中学校屋体の補助、起債の見通しがつかない、具体化したことから表面化し、役場(合川町周辺に建築)や屋体(北地区)の建築で利害関係の一致する東、北の両地区が握手し、また直線道路の完成後に役場庁舎を新築すべしと主張する南、西両地区が夫々手を結んで対立。結局最後には東、北の議員だけで可決してしまつたわけだが、今後の町政にとつて大きなシコリを残してしまつたといえる。

合川町議会にとつて八月は鬼門であるらしく、昨年八月下旬の議会でも、

合川町議会にとつて八月は鬼門であるらしく、昨年八月下旬の議会でも、

合川北中学校屋体内体操場の建築について
寄附採納について
第二日は十七日午前十一時より全議員出席して開会、議案審議のため休憩することとし、直ちに休憩に入り午後二時四十分再開、(松橋議長不在のため松井副議長議長席につく)

三浦義幹議員発言を求め「昨年来一か年にわたり調査して来た旧各村ごとの持寄財産の整備のことについてはまだ問題が残っている解決をはかるべきだ」と発言、再び休憩に入り、結局旧村ごと三人づつの委員を選んで調査することを申し合せ午後三時再開、議長より全議案を一括して質疑に入る旨を宣言、予算内容について二、三の議員より質問が行なわれていた最中に突然、関喜兵衛議員が発言を求め「議案第五十六号の北中屋体建築に關しては昨日もいろいろ協議したところであるが、私はこの問題につき、特に文書をもつて動議を提出する」と述べ東地区議員八名の連署した次の動議を提出した。

「新町建設計画の変更の變更に關する動議」
昭和三十年十一月二十九日
当町議会は於て變更決議せる建設計画第四項を變更前の通りに変更するものとす

合併時に於ける新町建設計画は旧村の総意により、四カ村同時決議による合併の基本事項にして、之を濫りに変更するは住民に対する公約を破る結果となり、又議会の権威を失墜して住民感情を悪化し、対立的状態を招来し、以て新町の平和的建設を阻害し民生を不安に陥し入れるものにつき、之を取消し、従前の通りにせんとするものなり。

合川町議会にとつて八月は鬼門であるらしく、昨年八月下旬の議会でも、

合川町議会にとつて八月は鬼門であるらしく、昨年八月下旬の議会でも、

合川町議会にとつて八月は鬼門であるらしく、昨年八月下旬の議会でも、

合川町議会にとつて八月は鬼門であるらしく、昨年八月下旬の議会でも、

合川町議会にとつて八月は鬼門であるらしく、昨年八月下旬の議会でも、

合川町議会にとつて八月は鬼門であるらしく、昨年八月下旬の議会でも、

合川町議会にとつて八月は鬼門であるらしく、昨年八月下旬の議会でも、

合川町議会にとつて八月は鬼門であるらしく、昨年八月下旬の議会でも、

第二回青年一夜講習会受講生募集!!

- 都合により延期されていた右の講習会を次の要領で開催しますから多数の男女青年諸君の参加を歓迎いたします。
- 一、期日 九月八日、九日の二日間
- 二、場所 合川西中学校
- 三、対象 合川地内の男女青年
- 四、講習内容
 - イ、講演
 - A、時事問題の解説 秋田県新報政経部長 高田景次氏
 - B、青年問題について 県連合青年会長 大黒一治氏
 - ロ、分科会
 - 1、仲間づくりはどうするか
 - 2、合川町連合青年会に望むものは何か
 - 3、共同学習はどうあればよいか
 - ハ、討論会 青年会と青年学校の関連は如何にあればよい
 - ニ、レクリエーション
 - フ、オ、ク、ダンスその他
- 五、会費 一人につき三十円、但し宿泊者は右のほか米六合、副食費七十円
- 六、申込その他
 - 1、申込は各地区連合青年会に於て取りまとめ九月五日までに公民館へ
 - 2、受講生は宿泊することを原則とする
 - 3、詳細については各地区連合青年会に照会のこと

合川町公民館 合川町連合青年会

金田重四郎 松井長之助 成田喜代治 森岡初音 土藤塚一 藤岡照一 伊藤紀喜 小笠原三三治 鈴木一男 安部重吉 関喜兵衛 吉田忠光 御所野長三郎 金田英知 佐藤一郎

事務局長 奈良孝三郎 事務局長 奈良孝三郎

合川町連合青年会

合川町連合青年会

集配局の統合着々進む

局側の構想は、新局舎の位置を李岱部落東端の庄司恵一氏（現局長）宅附近とし、木造二階建約八十坪の舎屋を建てる予定のようである。

敷地の選定、材料の準備なども順調に進んでいるが、李岱郵便局では、

「同じ町でありながら郵便物を配達する局が二つもあつては到着郵便局に

五千六百通になつてゐるが、今秋からは、これが一つの局から配達になるわけだ。定員は二十四、五名程度の見込で十一月一日から業務を開始する予定である。

郵便ばかりでなく、電話の統合を、という声もあるが、これは私どもとは経営が異なつてゐるので詳しいことは判らないがと語つてゐた。

電信電話公社でも統合したいという意向を持つてゐると聞いているから、近い将来には統合されるのではないかと思う。

また現在町内にある上大野、下大野、下小阿仁の三局はそれ／＼無集配局として残り、地域の住民に不便をおかけすることはないと考えてゐる」

本年度は千百万円

新農村建設事業計画決る

新農村建設の地域指定を年度に実施予定の事業は次
 受けた当町では、去る七月のとおりとなつてゐる。

局名の變更についてはまだ決定的なものではないが、こちらとしてもまた郵政局としても町名にふさわしいものにしたいたいと考えているので、やはり合川郵便局となる公算が強い。現在二つの集配局で取扱っている郵便物は引受配達合せて一日平均

来一合川地域農村振興協議（事業種目、事業量、事業費）
 会」を設け委員の選任も終
 り数次にわたる委員会を開
 いて地元からの要望等につ
 いて協議してきたが、この
 ほど「補助融資単独（併合）
 の事業」「融資単独事業」の
 内容を決定、県審議会の審
 査を受けて農林省の許可を
 受ける運びとなつたが、本

○草資源開発整備事業
 △補助融資単独（併合）分
 二〇町歩（一、二二五）鎌
 の沢部落
 ○同 二〇町歩（九〇〇）ト
 大野農協
 ○水田裏作推進モデル施設

学校の電気洗濯機の使
用について（お答え）

広報第十五号に掲載され、
した一主婦の方の声を拝見
し、痛い所をつかれたと今
く恐縮しております。
しかし、御意見は御尤もで

あなたと共に
住みよい、働きよい
暮らしよい、合川町の
建設。これが町政の
モットーです。

すが学校としても子供等の
元ものをやれなかつた理由も
一応ありますので御説明申
し上げたいと存じます。
あなたの御意見から受け取
られますことは
一、児童の衣類洗濯の目的
で買った洗濯機をなぜ児
童のために使用しないの
か。
二 洗濯機を我が物顔に使
用している先生がたにそ
の使用を遠慮してほしい
ということの二つだと思わ
れる。昨三十年度迄は、洗濯
はいうに及ばず、児童の保
健衛生を一手に引受けて下
さつていた福岡先生が元氣
で勤務しておりましたし、
用務員(小使)も二人おりま
して洗濯等も福岡先生と共
にやつていたわけです。
ところが、昨年十月福岡先
生が不幸にも病氣休職とな

がまわりかねているという
実情であります。

次に第二の点でありますが
「先生方が公共備品を我が
物に私用に供している云々
……」のお叱り……。

なるほど、児童の物を洗濯
すべき備品を私用にばかり
使っていることは、全く物
の順序をわきまえぬ不心得
者と思われましますので今後
分注意いたします。

なお、最後に申し上げたい

用が出来ない状況です。
校としては、目下新しい
戸を計画中でありますが
これが完成すれば、洗濯
の水もふんだんに使える
思われまします、また福岡
のときには昨年同様、電
洗濯機も本来の使命を全
することが出来るものと
えております。

（合川西小学校）

農事の研究にしても合川町と違つて当地では大人までクラブを結成して研究しているのには感心したと語っている。

◇ 畠山君「秋田は米の国だと自慢しているが、反収は三石程度、裏作は可能だが

同様の設計案に二千万七十八万円というぼう大な金額で、これを上部鉄骨工事と下部コンクリート橋脚工事（上部舗装及び取付金具を含む）の二つに分けて上部は去る四日入札が行われ一千二百八十三万二千元で東京鉄工橋梁株式会社に落札し、下部工事も今月中には入札が終る予定だと土木事務所では語っている。で来春には面目を一新した「芹沢橋」の実現が期待さ

成田勝子、直治孫、同
木村秀子、春吉六女、同
木村清、清藏長男、同
金田ひとみ、吉松孫、合川
沢藤晃子、伊太郎孫木戸石
疋田ひとみ、參良二女、同
杉淵忠寿、忠一郎孫、増沢
佐藤清惠、鶴治孫、木戸石
藤島富貴子、助太郎孫、同
伊勢一三、三治孫、八幡岱
松橋信子、貞治孫、道城
佐藤幸子、勇治三女、上杉
杉田義昭、忠包二男、川井

えの人々にはダマツてい
も新曆になるかも知れま
ん。このことについて教
委員の佐藤先生からお手紙
をいただきましたので次頁
に紹介致します。

◇：

もう爽やかな秋が参りま
す。広報もこれから益々
実したものにすべく努め
おりますが、一層の御支援
をお願いいたします

181

り、さらに本年度からは町
財政の都合により、用務員も
一名に減員され、不意な
に減員の衣類洗濯は手

耕機一台(二〇〇) 木
山田部落
○共同集荷所
一棟三〇坪(五三〇) 上
大野農協
○飼料自給促進施設
三町歩(五〇〇) 増沢部落
▽融資単独事業分
○草資源開発整備事業
二〇町歩(八五八、五)

家の家族とともに働きながら学んでいるが、このほら留學生の一人畠山誠一郎から「とても好評を博しています。町民の皆さんにろしく……」という便り同封して彼等のことを長県内に広く紹介した記事載つてゐる現地の新聞（

としは、その第一回目では、経営規模などの希望条件を、住込み県を通じて照会し、住込み世農家への「労力の提供」ということで費用はまかなたというもので費用はまかなたという制度をとつてゐるが、受け入れた農家では、「よくやつてくれる」とほめてゐる。

◇

茅野町へ来た畠山君の第

ところが、牛山さんはこの
畑をレタス、セルリーなど
の洋菜をはじめ、種馬鈴薯

芹沢橋今秋

上部

昨年の水害で流失以來地
元民に数々の不便を与えて
いた「芹沢橋」もいよいよ
今秋には着工するという明
るい見通しがつき関係者を
ホツトさせている。

てられると思う……」と話
している。

には着工
工入札終る
れている。

慶弔だより
（自七、三二）
至七、三二）

◇出生（二二）

心配された台風や水害の
とうやら無事に過ぎ、この
後の二百十日さえ事無く済
めば今年もまた豊作のよう
です。米の売渡予約も軽々
と。期待量を突破し、みんな
で出来秋を待つばかり

◇

お盆の新曆実施運動は八
民館の健斗？も空しく町内
の殆んどが旧曆になりまし
た。来年のことというと思
いが笑うそですが、来年は
旧曆が新曆より十日も早い

野農協
○共同育雛所
鶏舎、飼養器具一式（五
一〇）下小阿仁養鶏組合
○生活改善モデル施設
共同浴場（三〇〇）東地区
公民館
○同
台所、井戸、便所等（二
五〇）西地区公民館新田
目分館
○共同作業所
一棟一〇坪、縄仕上機一
台（五七〇）上大野農協
同一五坪、脱穀調整設備
（四八八）新田目部落、同
一五坪、脱穀調整設備
（四八八）八幡岱部落
普通畑經營モデル施設

農家の中堅青年を養成
ようと、町と公民館では
同企画で、去る七月上旬
内地留学生”として、
人の青年を長野県に送つ
これら十人の青年は、同
の松本、佐久、諏訪三地
の農家に分散し、九月末

同 (三〇〇〇) 芹沢部落
○暗渠排水
五町歩 (二〇〇〇) 金沢部
落

好評の内
畠山

で新ポンプ（南）

南地区芹沢、東根田、西根田の三部落ではかねてから消防力の強化に腐心して

地留学生

石から便り届く

（信日日）を送つて来た。

以下に同新聞の記事を載せて留学生の近況を紹介することにしよう。

◇合川町の町長というのが、若いハリキリ屋で、二十六才で村長になつたという人、毎年十八づつを全国へ出

喜ばれてゐる。なお、このポンプの購入には地元で十五万五千円、町が十四万円を負担した。

行われておらず、一毛作に過ぎない。合川町の畑の利用は当地とくらべてゼロで野菜なども自家消費がやつとのことで多くの農家は購入しなければならぬことを考えると、この地方がうらやましい……」

◇

住込んだ牛山さん方は、田七反、畑四反、果樹、五反、山羊一、緬羊二、豚二、にわとり十五の経営規

また、これらの留学生たちからは部落の読書会や「うたの会」農事研究会にも出席する計画で、茅野町当局も力を入れており、近くの農作業関係の諸機関を見学させている。上諏訪、蓼科等の温泉で研修会を開く計画を樹てている。

最後に牛山さんは「この留学生制度は、茅野町でもぜひ実現してほしい試みです。環境が変わると、考えたり、見たりする角度が変わ

田敦士、嘉吉長男、
 泉誠子、喜代松孫、道城
 浪井三郎、寅之助孫、下杉
 野春雄、佐市孫、木戸石
 島八太郎、藤一郎長男同
 勢リユ、喜八妻、八幡代
 相馬洋子、和七孫、三木田
 坂田サナ、勝二母、西根田
 藤鉄之助、本人、東根田

好評の内地留学生

畠山君から便り届く

農家の中堅青年を養成し、信（日）を送つて来た。以下に同新聞の記事を載せよう、町と八民館では共に同企画で、去る七月上旬、一併て留学生の近況を紹介する。内地留学生として、十ることしよう。

と、このことで多くの農家は神業関係の諸機関を見学させたり、上諏訪・蓼科等の温泉で研修会を開く計画を樹てている。

あとかぎ

人の青年を長野県に送つた。これら十人の青年は、同県の松本、佐久、諏訪三地方の農家に分散し、九月末までの三カ月間、住込んだ農家の家族とともに働きながら学んでいるが、このほど堅農家青年を育てる「もくろみだ」という。

住込んだ牛山さん方は、留学生制度は、茅野町でも田七反、畑四反、果樹、せひ実現してほしい試みで五反、山羊一、緬羊二豚す。環境が変わると、考えた二、にわとり十五の経営規り、見たりする角度が変わ模で、同君と大同小異。てくるので、新しい力が育ところが、牛山さんはこのてられると思う……」と話畑をレタス、セルリーなどしている。

の洋菜をはじめ、種馬鈴薯

心配された台風や水害も、
とうやう無事に過ぎ、この
後の二十日さへ事無く済
んだ。二百十日といふ豊作の
年といふは、
人はいないでしようか。
……
◇……
みなさんお元気でしょう
か。盆の食い過ぎや飲み過
ぎなどで医者通ひ……ナ
ンデ。

ことは、現在当校には井戸から一とも好評を博して町民の皆さんによろしく……」という便りに同封して彼等のことを長野県内に広く紹介した記事の載っている現地の新聞（南

芹沢橋今秋には着工
上部工入札終る

昨年の水害で流失以來地
元民に数々の不便を与えて
いた「芹沢橋」もいよいよ
着工するといふ明

慶弔だより
(自七、二)

お盆の新暦実施運動は、公
民館の健斗も空しく町内
の殆んどが旧暦になりまし
た。来年のことというと思
う。

が二個所にあります。使用量が多いので月曜日から土曜日まででは充分な水の使用が出来ない状況です。学校としては、目下新しい井戸を計画中でありますが、これが完成すれば、洗濯用の水もふんだんに使えると

茅野町へ来た畠山君の第一印象は、気候がとても快適なことに、さらに同地方の畑は非常に高度利用されていることに驚いたといふ。

農事の研究にしても合川

同橋の設計額は二千五百
七十萬八千円というほう大
な金額で、これを上部鉄骨
工事と下部コンクリート橋
脚工事（上部舗装及び取付
金具を含む）の二つに分け
る見通しがつき関係者を
ホットさせている。

◇出生（二二）

成田通彦、徳造長男、李岱
成田勝子、直治孫、同
木村秀子、春吉六女、同
木村清、清藏長男、同
金田ひとみ、吉松孫、合川
沢藤晃子、伊太郎孫木戸石

か笑うそうですが、来年は旧暦が新暦より十日も早いで遅い方が良いという者の人々にはダメツいていない。このことについて教員の新藤先生からお手紙をいただきましたので次頁

思われますし、また福岡先生の復職も間近なので、そのときには昨年同様、電気洗濯機も本来の使命を全うすることが出来るものと考えております。

（合川西小学校）

畠山君「秋田は米の国だと自慢しているが、反収は三石程度、裏作は可能だか

町と違つて当地では大人までクラブを結成して研究しているのには感心したと語つてゐる。

◇

上部は去る四日入札が行われ一千二百八十三万二千元で東京鉄工橋梁株式会社に入札、下部工事も今月中にハ入札が終る予定だと土木事務所では語つてゐる。佐藤清憲、鶴治孫、木戸石で来春には面目を一新した「芹沢橋」の実現が期待さ

もう爽やかな秋が参ります。広報もこれから益々充実したものにすべく努めておりますが、一層の御支援をお願いいたします